

資料編

(1) 調査票

鹿嶋市男女共同参画に関する市民意識調査

《ご協力をお願い》

日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市においては、**※男女共同参画社会**の実現に向けて、現在、平成18年度から平成27年度を計画期間とする「鹿嶋市男女共同参画計画」に基づき、種々の施策を実施しています。

今般、市では、社会情勢の変化を踏まえ、新たな課題に取り組むため、平成28年度から10年間を計画期間とする「第2次鹿嶋市男女共同参画計画」の策定を予定しています。

そこで、計画の策定と今後の施策の基礎資料とするため、市民意識調査を実施することといたしました。本調査実施にあたりましては、20歳以上の市民の方から1,500人を無作為に選ばせていただきました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年6月

鹿嶋市長 錦織 孝一

《 ※ 男女共同参画社会とは… 》

男女が、様々な分野に対等なパートナーとして参画し、自らの個性と能力を十分に発揮しながら多様な生活を認めあい、生き活きと充実した生活を送ることができる社会のことをいいます。

＜ご記入にあたってのお願い＞

- この調査には、あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- あて名のご本人がお答えください。ご本人による記入が難しい場合は、ご家族の方が聞き取るなどして記入の補助をお願いいたします。
- 質問ごとにあてはまる回答の番号を○で囲んでください。
- ○をつける数は、質問ごとに指定していますので、その範囲でご記入ください。
- 回答が「その他」の場合は、()内になるべく具体的にその内容を記入してください

- ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れ、6月27日(土)までに投函してください。(切手は不要。)
- 調査票に記載いただいた個人的な回答やご意見は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用いたしません。
- 本調査について、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

＜問合せ先＞

鹿嶋市役所 市民生活部 市民活動支援課 女性支援室

〒314-8655 鹿嶋市大字平井 1187 番地 1

電話：0299-82-2911 内線 302 FAX：0299-82-2915

男女の地位の平等に関する意識について

《 すべての方にお聞きします。 》

問1 次の(1)～(8)にあげる分野で、男女の地位は、一般的に平等になっていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
(1) 家庭生活 (家事, 育児など)	1	2	3	4	5	6
(2) 職場	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(4) 慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
(5) 地域社会 (自治会, 町内会など)	1	2	3	4	5	6
(6) 政治や行政 (議会や各種審議会など政策・方針決定の場への女性の参画)	1	2	3	4	5	6
(7) 法律や制度	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6

《 すべての方にお聞きします。 》

問2 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために、最も重要なことは何だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 法律や制度を見直し, 女性差別につながるものを改めること
- 2 女性を取り巻くさまざまな偏見, 固定的な社会通念, 慣習・しきたりを改めること
- 3 女性自身が, 経済力をつけること
- 4 女性自身が, 知識や技術を習得し, 能力の向上を図ること
- 5 女性が働くことや社会参加することを支援する施設やサービスの充実を図ること
- 6 国や地方公共団体, 企業などの重要な役職に, 一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
- 7 わからない
- 8 その他 ()

男女の生き方や家庭生活などに関する意識について

《 すべての方にお聞きします。 》

問5 「男性は仕事，女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。

あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 そう思わない
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

《 すべての方にお聞きします。 》

問6 生活の中での、「仕事」，「家庭生活」，「地域・個人の生活」の優先度について，あなたの理想と現状についてお答えください。

「仕事」：自営業（農林漁業を含む），家族従業（家業の仕事），常勤，パートタイム，アルバイトなどを問いません。

「家庭生活」：家族と過ごすこと，家事，育児，介護・看護など。

「地域・個人の生活」：地域活動（ボランティア活動，地域のつきあいなど），学業，趣味・娯楽スポーツなど。

【理想】（あなたの理想に最も近いもの 1つに○ をつけてください。）

- 1 「仕事」に専念したい
- 2 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先したい
- 3 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立したい
- 4 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先したい
- 5 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念したい
- 6 わからない

【現状】（あなたの現状に最も近いもの 1つに○ をつけてください。）

- 1 「仕事」に専念している
- 2 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
- 3 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している
- 4 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している
- 5 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
- 6 わからない

《 すべての方にお聞きします。 》

問7 あなたは、現在、地域活動（自治会やボランティア，NPO，サークルなど）をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 している → 問8へ
- 2 していない → 問9へ

問8 問7で「1 している」とお答えの方にうかがいます。どのような地域活動をして いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 町内会や自治会の活動
- 2 まちづくりなどに取り組む活動（まちづくり委員会や公民館活動など）
- 3 保育園や幼稚園，学校などのPTA活動や子ども会活動
- 4 スポーツ少年団や子育てサークルなど
- 5 福祉関係の活動（高齢者や障がい者に関するボランティアなど）
- 6 防災関係
- 7 自然環境保護関係
- 8 趣味やスポーツ，文化などのサークル活動
- 9 国際交流関係
- 10 その他（

問10へ

問9 問7で「2 していない」とお答えの方にうかがいます。地域活動に参加していないのは、どのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事が忙しく時間がない
- 2 育児のために時間がない
- 3 介護や看護のために時間がない
- 4 経済的な負担がある
- 5 健康に自信がない
- 6 対人関係に自信がない
- 7 情報がなくわからない
- 8 役員などにされると困る
- 9 きっかけがない
- 10 参加したくない
- 11 特に理由はない
- 12 その他（

問10へ

《 すべての方にお聞きします。 》

問10 男女がともに、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること
- 3 (男性が家事などに参加することに対する)男性自身の抵抗感をなくすこと
- 4 (男性が家事などに参加することに対する)女性自身の抵抗感をなくすこと
- 5 職場や仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 6 労働時間短縮や休暇制度(育児休業、介護休暇、ボランティア休暇など)を普及させること
- 7 男性が家事、子育て、介護、地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること
- 8 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間づくり(ネットワーク)を進めること
- 9 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談しやすい窓口を設けること
- 10 特にない
- 11 わからない
- 12 その他()

女性の就業、参画に関する意識について

《 すべての方にお聞きします。 》

問11 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 女性は職業を持たない方がよい →問13へ
- 2 結婚したら、職業を持たない方がよい
- 3 結婚後も職業を持つのがよいが、子どもができた後はずっと職業を持たない方がよい
- 4 子どもができたら職業を持たず、子どもが大きくなったら再び職業を持つのがよい
- 5 結婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持つ方がよい
- 6 わからない
- 7 その他()

問12へ

問12 女性が働きつづけるためには、家庭・社会・職場において、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 保育所や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
- 2 介護支援サービスの充実
- 3 男性の家事参加への理解・意識改革
- 4 (女性が働き続けることへの) 周囲の理解・意識改革
- 5 (女性が働き続けることへの) 女性自身の意識改革
- 6 男女双方の長時間労働の改善など、労働環境の改善
- 7 職場における育児・介護・看護のための休暇制度の充実
- 8 出産・介護などで離職した人に対する再雇用制度の充実
- 9 特にない
- 10 わからない
- 11 その他 ()

問13へ

《 すべての方にお聞きします。 》

問13 政治・経済・地域などの各分野で、女性の参画が進み、女性のリーダーが増えると、どのようなことが起こると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 多様な視点が加わることにより、新たなサービスや施策が充実する
- 2 人材・労働力の確保につながり、社会全体が活性化する
- 3 女性の声が反映されやすくなる
- 4 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 5 男女問わず仕事と家庭の両立がしやすい社会になる
- 6 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 7 男性の家事・育児などへの参加が増える
- 8 保育や介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担や公的負担が増える
- 9 特にない
- 10 わからない
- 11 その他 ()

《 すべての方にお聞きします。 》

問14 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに、世間一般で障害となるものは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 男性がリーダーとなるのが社会通念、慣行となっていること
- 4 長時間労働の改善など労働環境が十分ではないこと
- 5 保育・介護・家事などにおける夫や家族などの支援が十分ではないこと
- 6 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 7 特にない
- 8 わからない
- 9 その他（ ）

女性の人権に関する意識について

《 すべての方にお聞きします。 》

問15 女性に関する人権上の問題について、現在、問題となっているのはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 男女の固定的な役割分担意識（「家事は女性」など）に基づく差別的取扱いを受けること
- 2 職場において差別待遇（女性が管理職になりにくいなど）を受けること
- 3 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 4 マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産にあたって、職場において受ける精神的・肉体的嫌がらせ）
- 5 ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）
- 6 売春・買春
- 7 「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること
- 8 特にない
- 9 わからない
- 10 その他（ ）

《 すべての方にお聞きします。 》

問16 あなたは、職場でセクハラ（セクシュアル・ハラスメント）を受けたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ない →問18へ
- 2 ある →問17へ

（職場でのセクハラとは）

- ・職場での地位を利用したり、何らかの雇用上の利益・不利益を示して性的要求が行われるもの
- ・はっきりとした経済的な不利益は伴わないにしても、性的な言動を繰り返すことによって職務のスムーズな遂行を妨げるなど、働く環境を悪化させること。

問17 問16で「2 ある」とお答えの方にうかがいます。

(ア) セクハラを受けたことについてどこかに相談しましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 会社の窓口相談した
- 2 都道府県労働局「雇用均等室」に相談した
- 3 民間の専門家や機関（弁護士、カウンセラーなど）に相談した
- 4 医療関係者（医師、看護師、臨床心理士など）に相談した
- 5 家族や親戚に相談した
- 6 友人・知人に相談した
- 7 その他（)
- 8 どこ（誰）にも相談しなかった →問（イ）へ

問18へ

(イ) (ア)で「8 どこ（誰）にも相談しなかった」とお答えの方にうかがいます。
相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にもいえなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 5 世間体が悪いから
- 6 相談するほどのことではないと思ったから
- 7 相談したことが分かると、解雇や降格など不利益を受けると思ったから
- 8 特に理由はない
- 9 その他（)

問18へ

《 すべての方にお聞きします。 》

問18 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者や恋人などパートナーからの暴力）を経験したり、身近で見聞きしたことがありますか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 DVを受けたことがある →問19へ
- 2 DVを受けたことはない
- 3 身近な人から相談を受けたり、身近で見聞きしたことがある
- 4 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- 5 その他（)

問20へ

問19 問18で「1 DVを受けたことがある」とお答えの方にうかがいます。

(ア) どのような暴力を受けましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力
- 2 人格を否定するような暴言、行動の監視や長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるなどの心理的攻撃
- 3 生活費を渡さない、貯金を勝手に使われるなどの経済的圧迫
- 4 性的な行為の強要、避妊に協力しないなどの性的強要
- 5 その他 ()

(イ) 上記(ア)のような行為を受けたことについて、どこかに相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 警察に連絡・相談した
- 2 警察以外の公的機関（配偶者暴力相談支援センター、市役所など）に相談した
- 3 民間の専門家や機関（弁護士、カウンセラーなど）に相談した
- 4 医療関係者（医師、看護師、臨床心理士など）に相談した
- 5 家族や親戚に相談した
- 6 友人・知人に相談した
- 7 その他 ()
- 8 どこ（誰）にも相談しなかった →問(ウ)へ

問20へ

(ウ) (イ)で「8 どこ（誰）にも相談しなかった」とお答えの方にうかがいます。相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

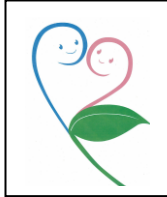
- 1 どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にもいえなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 相談したことが分ると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
- 5 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 6 世間体が悪いから
- 7 他人を巻き込みたくなかったから
- 8 自分にも悪いところがあると思ったから
- 9 相談するほどのことではないと思ったから
- 10 特に理由はない
- 11 その他 ()

問20へ

男女共同参画社会について

《 すべての方にお聞きします。 》

問20 あなたは、次の言葉やマークを見たり聞いたりしたことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 女子差別撤廃条約（女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約）
- 2 男女共同参画社会基本法
- 3 男女雇用機会均等法
- 4 鹿嶋市男女共同参画計画
- 5 鹿嶋市男女共同参画情報誌「ウィング」
- 6 鹿嶋市男女共同参画推進シンボルマーク 
- 7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）
- 8 ポジティブ・アクション（男女労働者の間に生じている差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組み）
- 9 ダイバーシティ（性別や人種の違いに限らず、多様な人材を積極的に活用しようという考え方）
- 10 ドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人などパートナーからの暴力）
- 11 見たり聞いたりしたものはない

《 すべての方にお聞きします。 》

問21 「男女共同参画社会」を実現するために、鹿嶋市の施策に望むことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 関係する制度の制定や見直し
- 2 男女の平等と相互理解や協力についての意識啓発、広報活動の充実
- 3 学校教育や社会教育の場において、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 4 審議会など政策や方針決定過程の場に女性を積極的に登用する
- 5 行政機関・教育機関・企業などにおける女性管理職の積極的な登用
- 6 職場における男女の均等な扱いについて企業や経営者に向けた意識啓発
- 7 子育てや介護などでいったん仕事をやめた人への再就職の支援
- 8 各種保育や介護サービスの充実
- 9 地域や団体で活躍できる女性リーダーの養成
- 10 男性を対象とした育児や介護など各種講座の充実
- 11 特にない
- 12 その他（）

あなたご自身について

最後にあなたご自身についてお伺いします。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

A あなたの性別はどちらですか

- 1 男 2 女

→ 裏面に続きます。

(2) 単純集計票

A 性別 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性	190	37.5
2	女性	314	61.9
	無回答	3	0.6
	サンプル数	507	100.0

B 年齢 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	20～24 歳	21	4.1
2	25～29 歳	37	7.3
3	30～34 歳	32	6.3
4	35～39 歳	46	9.1
5	40～44 歳	50	9.9
6	45～49 歳	43	8.5
7	50～54 歳	38	7.5
8	55～59 歳	55	10.8
9	60～64 歳	65	12.8
10	65～69 歳	62	12.2
11	70 歳以上	58	11.4
	無回答	0	0
	サンプル数	507	100.0

C 家族構成 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	一人世帯	47	9.3
2	夫婦のみの世帯	155	30.6
3	親と未婚の子からなる世帯	189	37.3
4	親と子ども夫婦の世帯	46	9.1
5	親と子と孫からなる世帯	45	8.9
6	その他	22	4.3
7	無回答	3	0.6
	サンプル数	507	100.0

D 婚姻状況 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	現在, 結婚している	387	76.1
2	結婚していたが, 離別した	29	5.7
3	結婚していたが, 死別した	21	4.1
4	結婚したことはない	68	13.4
5	無回答	2	0.6
6	サンプル数	507	100.0

E 配偶者の就労形態 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	正社員, 正職員	148	38.2
2	契約社員, パートタイム	63	16.3
3	自営業	34	8.8
4	無職	123	31.8
5	学生	0	0.0
6	その他	6	1.6
7	無回答	13	3.4
	サンプル数	507	100.0

F 子どもの有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	いる	376	74.2
2	いない	104	20.5
3	無回答	27	5.3
	サンプル数	507	100.0

(子どもの人数) (SA)

カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1人	82	21.8
2人	200	53.2
3人	66	17.6
4人	6	1.6
5人	3	0.8
無回答	19	5.1
サンプル数	376	100.0

F-2 子どもの成長段階 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	小学校入学前	52	13.8
2	小学生	56	14.9
3	中学生	41	10.9
4	高校生	28	7.4
5	専門学校・短大・大学, 大学院生	39	10.4
6	就労, 結婚により独立している	212	56.4
7	その他	19	5.1
8	無回答	13	3.5
	サンプル数	376	100.0

G 介護や看護を必要とする方の同居の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	いる	62	12.2
2	いない	409	80.7
3	無回答	36	7.1
	サンプル数	507	100.0

問1-(1) 家庭生活(家事, 育児など) (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	130	25.6
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	204	40.2
3	平等になっている	67	13.2
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	43	8.5
5	女性の方が優遇されている	12	2.4
6	わからない	26	5.1
7	無回答	25	4.9
	サンプル数	507	100.0

問1-(2) 職場 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	112	22.1
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	221	43.6
3	平等になっている	84	16.6
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	17	3.4
5	女性の方が優遇されている	9	1.8
6	わからない	40	7.9
7	無回答	24	4.7
	サンプル数	507	100.0

問1-(3) 学校教育の場 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	12	2.4
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	66	13.0
3	平等になっている	281	55.4
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	19	3.7
5	女性の方が優遇されている	4	0.8
6	わからない	92	18.1
7	無回答	33	6.5
	サンプル数	507	100.0

問1-(4) 慣習・しきたり (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	98	19.3
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	221	43.6
3	平等になっている	95	18.7
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	15	3.0
5	女性の方が優遇されている	3	0.6
6	わからない	45	8.9
7	無回答	30	5.9
	サンプル数	507	100.0

問1-(5) 地域社会 (自治会, 町内会) (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	65	12.8
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	212	41.8
3	平等になっている	124	24.5
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	22	4.3
5	女性の方が優遇されている	3	0.6
6	わからない	56	11.0
7	無回答	25	4.9
	サンプル数	507	100.0

問1-(6) 政治や行政 (議会や各種審議会など政策・方針決定の場への女性の参画) (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	124	24.5
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	227	44.8
3	平等になっている	70	13.8
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	11	2.2
5	女性の方が優遇されている	53	10.5
6	わからない	0	0.0
7	無回答	22	4.3
	サンプル数	507	100.0

問1-(7) 法律や制度 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	55	10.8
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	184	36.3
3	平等になっている	157	31.0
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	21	4.1
5	女性の方が優遇されている	4	0.8
6	わからない	60	11.8
7	無回答	26	5.1
	サンプル数	507	100.0

問1- (8) 社会全体 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男性の方が優遇されている	78	15.4
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	287	56.6
3	平等になっている	68	13.4
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	14	2.8
5	女性の方が優遇されている	3	0.6
6	わからない	33	6.5
7	無回答	24	4.7
	サンプル数	507	100.0

問2 平等になるために重要なこと (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	法律や制度を見直し, 女性差別につながるものを改めること	45	8.9
2	女性を取り巻くさまざまな偏見, 固定的な社会通念, 慣習・しきたりを改めること	154	30.4
3	女性自身が, 経済力をつけること	31	6.1
4	女性自身が, 知識や技術を習得し, 能力の向上を図ること	48	9.5
5	女性が働くことや社会参加することを支援する施設やサービスの充実を図ること	109	21.5
6	国や地方公共団体, 企業などの重要な役職に, 一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	52	10.3
7	わからない	22	4.3
8	その他	13	2.6
	無回答	33	6.5
	サンプル数	507	100.0

問3 回答者の現在の就労形態 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	正社員, 正職員	170	33.5
2	契約社員, 派遣社員, パートタイム	110	21.9
3	自営業	40	8.1
4	無職	169	32.9
5	学生	2	0.4
6	その他	12	2.2
7	無回答	4	1.0
	サンプル数	507	100.0

問4-ア 現在無職の方の就労経験 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	ある (かつて働いていたが、今は働いていない)	159	94.1
2	ない (最終学歴卒業・中退後、一度も働いたことはない)	5	3.0
3	無回答	5	3.0
	サンプル数	169	100.0

問4-イ 現在働いていない理由 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	健康上の理由のため	27	16.0
2	家事や子育てに専念するため	31	18.3
3	(高齢者や障がい者、病人などの) 介護や看護に専念するため	8	4.7
4	家事や子育てとの両立に自信がないため	16	9.5
5	(高齢者や障がい者、病人などの) 介護や看護との両立に自信がないため	4	2.4
6	家族の反対や理解が得られなかったため	1	0.6
7	年齢制限などにより仕事がみつからないため	33	19.5
8	よりよい条件で働くことができるよう、資格取得などの準備中のため	5	3.0
9	しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安なため	11	6.5
10	経済的に働く必要がないため	19	11.2
11	定年退職したため	52	30.8
12	特に理由はない	10	5.9
13	その他	15	8.9
	無回答	6	3.6
	サンプル数	159	100.0

問4-(ウ) 現在無職の方の今後の就労希望 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	すぐにでも仕事につきたい・求職中	20	11.7
2	現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事につきたい	34	19.9
3	今すぐにはではないが、いずれは仕事につきたい	32	18.7
4	仕事にはつきたくない、働く必要がない	60	35.1
5	無回答	23	14.6
	サンプル数	159	100.0

問5 「男性は仕事，女性は家庭」という考え方についてどう思うか。(SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	そう思う	49	9.7
2	そう思わない	289	57.0
3	どちらともいえない	157	31.0
4	わからない	3	0.6
5	無回答	9	1.8
	サンプル数	507	100.0

問6 「仕事」，「家庭生活」，「地域・個人の生活」の優先度 (SA)

(理想)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	「仕事」に専念したい	15	3.0
2	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先したい	72	14.2
3	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立したい	160	31.6
4	「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先したい	161	31.8
5	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念したい	69	13.6
6	わからない	23	4.5
7	無回答	7	1.4
	サンプル数	507	100.0

(現実)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	「仕事」に専念している	70	13.8
2	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している	119	23.5
3	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している	63	12.4
4	「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している	73	14.4
5	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している	146	28.8
6	わからない	29	5.7
7	無回答	7	1.4
	サンプル数	507	100.0

問7 地域活動の参加の状況について (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	している	156	30.8
2	していない	347	68.4
3	無回答	4	0.8
	サンプル数	507	100.0

問8 地域活動をしている方の活動内容 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	町内会や自治会の活動	76	48.7
2	まちづくりなどに取り組む活動 (まちづくり委員会や公民館活動など)	22	14.1
3	保育園や幼稚園, 学校などのPTA活動や子ども会活動	28	17.9
4	スポーツ少年団や子育てサークルなど	14	9.0
5	福祉関係の活動 (高齢者や障がい者に関するボランティアなど)	16	10.3
6	防災関係	9	5.8
7	自然環境保護関係	7	4.5
8	趣味やスポーツ, 文化などのサークル活動	63	40.4
9	国際交流関係	4	2.6
10	その他	4	2.6
	無回答	1	0.6
	サンプル数	156	100.0

問10 男女がともに家事，子育て，介護，地域活動に積極的に参加するために必要なこと (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男女の役割意識についての社会通念，慣習，しきたりを改めること	213	42.0
2	家事などの分担について，夫婦や家族間で話し合い，協力すること	290	57.2
3	(男性が家事などに参加することに対する) 男性自身の抵抗感をなくすこと	173	34.1
4	(男性が家事などに参加することに対する) 女性自身の抵抗感をなくすこと	66	13.0
5	職場や仕事中心の生き方，考え方を改めること	146	28.8
6	労働時間短縮や休暇制度 (育児休業，介護休暇，ボランティア休暇など) を普及させること	241	47.5
7	男性が家事，子育て，介護，地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること	127	25.0
8	男性が子育てや介護，地域活動を行うための仲間づくり (ネットワーク) を進めること	90	17.8
9	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について，相談しやすい窓口を設けること	103	20.3
10	特になし	21	4.1
11	わからない	21	4.1
12	その他	17	3.4
	無回答	10	2.0
	サンプル数	347	100.0

問11 女性が職業を持つことについて (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	女性は職業を持たない方がよい	4	0.8
2	結婚したら，職業を持たない方がよい	4	0.8
3	結婚後も職業を持つのがよいが，子どもができた後はずっと職業を持たない方がよい	5	1.0
4	子どもができたなら職業を持たず，子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい	161	31.8
5	結婚や子どもの有無にかかわらず，職業を持つ方がよい	269	53.1
6	わからない	19	3.7
7	その他	30	5.9
8	無回答	15	3.0
	サンプル数	507	100.0

問12 女性が働き続けるために必要なこと (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	保育所や児童クラブなど, 子どもを預けられる環境の整備	398	78.5
2	介護支援サービスの充実	207	40.8
3	男性の家事参加への理解・意識改革	248	48.9
4	(女性が働き続けることへの) 周囲の理解・意識改革	219	43.2
5	(女性が働き続けることへの) 女性自身の意識改革	84	16.6
6	男女双方の長時間労働の改善など, 労働環境の改善	229	45.2
7	職場における育児・介護・看護のための休暇制度の充実	294	58.0
8	出産・介護などで離職した人に対する再雇用制度の充実	282	55.6
9	特にない	4	0.8
10	わからない	3	0.6
11	その他	8	1.6
12	無回答	13	2.6
	サンプル数	507	100.0

問13 女性リーダーが増えることの影響 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	多様な視点が加わることにより, 新たなサービスや施策が充実する	266	52.5
2	人材・労働力の確保につながり, 社会全体が活性化する	163	32.1
3	女性の声が反映されやすくなる	254	50.1
4	男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる	290	57.2
5	男女問わず仕事と家庭の両立がしやすい社会になる	185	36.5
6	労働時間の短縮など働き方の見直しが進む	124	24.5
7	男性の家事・育児などへの参加が増える	164	32.3
8	保育や介護などの公的サービスの必要性が増大し, 家計負担や公的負担が増える	108	21.3
9	特にない	9	1.8
10	わからない	15	3.0
11	その他	14	2.8
12	無回答	11	2.2
	サンプル数	507	100.0

問14 女性リーダーを増やすときに障害となるもの (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	151	29.8
2	女性自身がリーダーになることを希望しないこと	129	25.4
3	男性がリーダーとなるのが社会通念、慣行となっていること	279	55.0
4	長時間労働の改善など労働環境が十分ではないこと	207	40.8
5	保育・介護・家事などにおける夫や家族などの支援が十分ではないこと	274	54.0
6	保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	244	48.1
7	特にない	12	2.4
8	わからない	16	3.2
9	その他	5	1.0
10	無回答	6	1.2
	サンプル数	507	100.0

問15 女性に関する人権上の問題について (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	男女の固定的な役割分担意識（「家事は女性」など）に基づく差別的取扱いを受けること	267	52.7
2	職場において差別待遇（女性が管理職になりにくいなど）を受けること	248	48.9
3	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	183	36.1
4	マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産にあたって、職場において受ける精神的・肉体的嫌がらせ）	207	40.8
5	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）	113	22.3
6	売春・買春	42	8.3
7	「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	51	10.1
8	特にない	38	7.5
9	わからない	39	7.7
10	その他	3	0.6
	無回答	9	1.8
	サンプル数	507	100.0

問16 職場におけるセクシュアル・ハラスメントの経験 (SA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	ない	448	88.4
2	ある	42	8.3
3	無回答	17	3.4
	サンプル数	507	100.0

問17-(ア) セクハラを受けたときの相談先 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	会社の窓口相談した	1	2.4
2	都道府県労働局「雇用均等室」に相談した	0	0.0
3	民間の専門家や機関（弁護士、カウンセラーなど）に相談した	0	0.0
4	医療関係者（医師、看護師、臨床心理士など）に相談した	0	0.0
5	家族や親戚に相談した	9	21.4
6	友人・知人に相談した	14	33.3
7	その他	0	0.0
8	どこ（誰）にも相談しなかった	21	50.0
	無回答	0	0.0
	サンプル数	42	100.0

問17-(イ) 相談しなかった理由 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	3	14.3
2	恥ずかしくて誰にもいえなかったから	3	14.3
3	相談しても無駄だと思ったから	10	47.6
4	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていると 思ったから	6	28.6
5	世間体が悪いから	1	4.8
6	相談するほどのことではないと思ったから	6	28.6
7	相談したことが分かったら、解雇や降格など不利益を 受けると思ったから	4	19.0
8	特に理由はない	0	0.0
9	その他	3	14.3
	無回答	0	0.0
	サンプル数	21	100.0

問18 ドメスティック・バイオレンスの経験 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	DVを受けたことがある	45	9.3
2	DVを受けたことはない	268	52.9
3	身近な人から相談を受けたり、身近で見聞きしたこ とがある	95	18.7
4	テレビや新聞などで問題になっていることは知って いる	300	59.2
5	その他	5	1.0
6	無回答	19	3.7
	サンプル数	507	100.0

問19-(ア) DVの内容 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	殴る, 蹴る, 物を投げつけるなどの身体的暴力	31	66.0
2	人格を否定するような暴言, 行動の監視や長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ, あるいは, 危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるなどの心理的攻撃	32	68.1
3	生活費を渡さない, 貯金を勝手に使われるなどの経済的圧迫	11	23.4
4	性的な行為の強要, 避妊に協力しないなどの性的強要	10	21.3
5	その他	0	0.0
6	無回答	3	6.4
	サンプル数	47	100.0

問19-(イ) DVを受けたときの相談先 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	警察に連絡・相談した	3	6.4
2	警察以外の公的機関 (配偶者暴力相談支援センター, 市役所など) に相談した	1	2.1
3	民間の専門家や機関 (弁護士, カウンセラーなど) に相談した	2	4.3
4	医療関係者 (医師, 看護師, 臨床心理士など) に相談した	2	4.3
5	家族や親戚に相談した	15	31.9
6	友人・知人に相談した	15	31.9
7	その他	1	2.1
8	どこ (誰) にも相談しなかった	17	36.2
	無回答	3	6.4
	サンプル数	47	100.0

問19- (ウ) 相談しなかった理由 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	どこ (誰) に相談してよいかわからなかったから	4	23.5
2	恥ずかしくて誰にもいえなかったから	3	17.6
3	相談しても無駄だと思ったから	7	41.2
4	相談したことが分かると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	3	17.6
5	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていると 思ったから	10	58.8
6	世間体が悪いから	6	35.3
7	他人を巻き込みたくなかったから	5	29.4
8	自分にも悪いところがあると思ったから	6	35.3
9	相談するほどのことではないと思ったから	4	23.5
10	特に理由はない	1	5.9
11	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	サンプル数	17	100.0

問20 男女共同参画に関する用語等の周知度 (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	女子差別撤廃条約 (女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約)	57	11.2
2	男女共同参画社会基本法	124	24.5
3	男女雇用機会均等法	276	54.4
4	鹿嶋市男女共同参画計画	49	9.7
5	鹿嶋市男女共同参画情報誌「ウィング」	26	5.1
6	鹿嶋市男女共同参画推進シンボルマーク	45	8.9
7	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の両立)	107	21.1
8	ポジティブ・アクション (男女労働者の間に生じている差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組み)	26	5.1
9	ダイバーシティ (性別や人種の違いに限らず、多様な人材を積極的に活用しようという考え方)	61	12.0
10	ドメスティック・バイオレンス (配偶者や恋人などパートナーからの暴力)	285	56.2
11	見たり聞いたりしたものはない	147	29.0
	無回答	34	6.7
	サンプル数	507	100.0

問 2 1 男女共同参画社会を実現する為に鹿嶋市に望むこと (MA)

No.	カテゴリ	件数 (件)	構成比 (%)
1	関係する制度の制定や見直し	117	23.1
2	男女の平等と相互理解や協力についての意識啓発, 広報活動の充実	169	33.3
3	学校教育や社会教育の場において, 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	163	32.1
4	審議会など政策や方針決定過程の場に女性を積極的に登用する	89	17.6
5	行政機関・教育機関・企業などにおける女性管理職の積極的な登用	126	24.9
6	職場における男女の均等な扱いについて企業や経営者に向けた意識啓発	181	35.7
7	子育てや介護などでいったん仕事をやめた人への再就職の支援	292	57.6
8	各種保育や介護サービスの充実	246	48.5
9	地域や団体で活躍できる女性リーダーの養成	85	16.8
10	男性を対象とした育児や介護など各種講座の充実	90	17.8
11	特にない	32	6.3
12	その他	12	2.4
	無回答	15	3.0
	サンプル数	507	100.0